

令和6年度 住田高校教職員 働き方改革アクションプラン

～仕事は楽しくポジティブに！休めるときは休もう！～

住田高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- (1) 令和5年度における教職員一人あたりの勤務時間外在校時間数は月平均23時間24分であり令和4年度の26時間24分から3時間ほど減少している。
(令和3年度は31時間39分)
- (2) 令和5年(1月～12月)における教職員一人あたりの年次休暇等取得日数は16.9日であり令和4年度の14.0日と比べ2.9日ほど増加している。
(令和3年度は14.6日)

【定性的現状】

- (1) 対外活動の多い部活動や事務処理業務が多い分掌を担当する一部教職員に業務が集中している。教育活動全般において、個に頼ってしまい、組織として対応できていない場面がある。
- (2) 正課以外の学習指導や生活指導に時間をとられ、授業の準備という最も大切な時間を十分に確保できていない。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 部活動指導を含む時間外在校時間について
- (1) 45時間超過月数を20月未満にする(令和5年度は22月)
 - (2) 年360時間超の者を5名未満にする(令和5年度は5名)

【目指す姿】

- 生徒への質の高い教育を持続的に提供し得る観点から、働き方の見直しが図られている。
- 教職員一人一人が、やりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
- 教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">管理職は、教職員の悩み事についていつでも丁寧に対応します(校長室の扉を常にオープンにして対応)。学校閉庁日等での緊急連絡対応は、学校専用携帯電話やFormsで副校長が一括して受け付けます。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">各種会議および学校行事の精選、開催方法の見直しを図ります。会議資料やアンケートについてはTeamsおよびForms等を積極的に活用、紙媒体での配付を廃止し、効率化を図ります。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">働き方改革の取組として、分掌ごとに業務の見直し、特に会議等の精選を実施します。部活動指導員や教育コーディネーター等との連携を図り、部活動をはじめとする課外活動指導時間を縮減します。
令和6年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">コミュニティー・スクールによる外部人材とのつながりを強く意識し、より強固な連携・協力体制づくりに取り組みます。

4 アクションプランの周知方法

プランを学校のHP、note、広報紙『樂水樂山』に掲載し、地域・保護者へお知らせします。会議等を通じて教職員にも周知します。